

トピックス

サメハダテヅルモヅル

2020年11月19日、白浜のエビ網漁業者清七丸が「見たことのない生物がエビ網にかかった」とバケツに入った生物2尾(写真1)を持ってきてくれました。その生物の特徴は細かい触手が無数にあり見た目はちょっと不気味な生物で、テヅルモヅルの仲間でした。テヅルモヅル類はクモヒトデ綱カワクモヒトデ目テヅルモヅル科の棘皮動物です。棘皮動物はウニ、ナマコ、ヒトデを含むグループです。その中でもテヅルモヅルはクモヒトデに近い生物で、クモヒトデの5本の腕が細かい触手に分岐している形です。

年明け後の1月5日には、同じく白浜のエビ網漁業者龍宮丸からテヅルモヅルが獲れたと声をかけられました。11月と同じ種でした(写真2)。

表に測定結果を載せました。形態の特徴は①盤に顆粒がない(オキノテヅルモヅル、セノテヅルモヅル、ツルボソテヅルモヅルとの違い)、②盤に棘がない(トゲオキノテヅルモヅルとの違い)、③盤周辺に小板がない(オキノテヅルモヅルとの違い)でこれらの点から、サメハダテヅルモヅルと同定しました。

表 白浜で採捕されたサメハダテヅルモヅル

採捕年月日	漁場	盤径	体重	採捕者
2020年11月19日	鵜穴(水深15~20m)	75mm	312g	清七丸
2020年11月19日	鵜穴(水深15~20m)	72mm	428g	清七丸
2021年1月4日	ちょっぼの張り出し (水深10~11m)	59mm	266g	龍宮丸

龍宮丸の話では、テヅルモヅルはこれまでエビ網にかかったことはなく、2020年9月以降の今エビ網漁期の特徴であるそうです。清七丸、龍宮丸以外にも数人がテヅルモヅルを混獲し、その場所は白浜板戸沖から縄地沖の流れが速い漁場だそうです。特異現象と見て良いでしょう。



写真1 サメハダテヅルモヅル 写真2 サメハダテヅルモヅル

(11月19日採捕)

(1月5日採捕 水槽内)

(長谷川雅俊)